

Tris-Glycine SDS バッファーキット

(SDS-PAGE mini 取扱い説明書)

プロトコール

*注意：TG Fast-PAGE mini をご利用の場合は製品に同梱の取扱い説明書、TG Fast-PASGE mini 取扱説明書に従って操作してください。

1. Tris-Glycine SDS サンプルバッファーには還元剤が含まれていません。還元条件で泳動する場合は、5 mlの Tris-Glycine SDSサンプルバッファー (2×)、に対して 0.25 mlの2-メルカプトエタノール、または 0.1 gのジチオトレイトールを加えてから次の試料溶液を調製してください。還元剤入りサンプルバッファーは使用時に新しく調製してください。
2. 試料と Tris-Glycine SDS サンプルバッファー (2×)注-1 を (1 : 1) の割合で混合し、95°Cで 5分間加熱します。

注-1 : Tris-Glycine SDS サンプルバッファー(2×)は加熱(30~40°C)して完全に溶解してから使用してください。

3. Tris-Glycine SDS 泳動バッファー (10×)を純水で 10倍に希釈し、Tris-Glycine SDS泳動バッファー (1×)を調製します。泳動装置の上部および下部バッファー槽にそれぞれ適量の Tris-Glycine SDS泳動バッファー (1×)を注入します。上部バッファー液はゲルカセットのウエル上端より 3~4 mm上の位置まで注入します。TEFCO セイフティーセルミニ、STC-808の場合、上部バッファー槽に約 200 ml、下部バッファー槽に約 300 mlを使用します。
4. ウエルに試料溶液を添加します。タンパク質の負荷量はクマシーブルー染色を行う場合、通常 1バンド当たり 0.1 - 0.5 µg が適量です。

5. 下記の泳動条件に従って泳動を行います。

泳動条件-1 (定電流で泳動する場合)

電 流 : 18 mA定電流
予想電圧 : 開始時 : 70-100 V
終了時 : 160-210 V
泳動時間 : 80-110 分

定電流で泳動する場合、1.5 mm厚のゲルは1 mm厚の場合の 1.5倍の電流値に設定します。同様に、ゲル 2 枚を泳動する場合は 1枚の場合の 2倍に設定します。予想電流と電圧、泳動時間は泳動バッファーの 温度により変化します。

泳動条件-2 (定電圧で泳動する場合)

電 圧 : 125 V定電圧
予想電流 : 開始時 : 30-40 mA / 1 mm -gel
終了時 : 8-12 mA / 1 mm -gel

泳動時間 : 80-110 分

定電圧で泳動する場合はゲル厚、枚数に関係なく電圧は一定に設定します。予想電流と電圧、泳動時間は泳動バッファーの温度により変化します。

プロモフェノールブルー (BPB) がゲル下端付近まで移動したら電源を切り、泳動を終了します。

6. 泳動終了後、ゲルをカセットから取り出し、必要に応じて、固定、染色、プロッティング等の操作を行います。

品名

		Cat. No.
Tris-Glycine SDS バッファー キット (06-363, 364 各 1 本)	4°C保存	06-361
Tris-Glycine SDS サンプルバッファー (2×), 20ml 2 本	4°C保存	06-363
Tris-Glycine SDS 泳動バッファー (10×), 500ml	室温保存	06-364

用途

SDS-PAGE mini (品番:01-)、または Zymogram-PAGE mini (品番:01-775)の泳動。

TG Fast-PAGE mini (品番: TG-) を泳動する場合は 製品 TG Fast-PAGE mini に同梱の取扱説明書に従ってください。

組成

Tris-Glycine SDSサンプルバッファー (1×)		Tris-Glycine SDS泳動バッファー (1×)	
Tris-HCl, pH6.8	63 mM	Tris base	25 mM
Glycerol	10%	Glycine	192 mM
SDS	2%	SDS	0.1%
Bromophenol blue	0.0025%		

テフコ株式会社

〒192-0361

東京都八王子市越野 5-5 富沢ビル 2階

TEL 042-676-3513 FAX 042-676-9150

<http://www.tef.co.jp>